

CPD 行事参加票作成ルールについて

2011. 7. 15 北海道本部事務局制定

2017. 11. 29 北海道本部役員会変更承認

2019. 8. 8 北海道本部役員会変更承認

日本技術士会の「本会における CPD 参加に関わる CPD 参加票について（平成 24 年 1 月 26 日）」に基づき、北海道本部では「CPD 行事参加票」に関して一定のルール化を設定しております。

下記の留意事項に従ってご協力をお願いします。

1. 北海道本部の各委員会、各研究委員会、各地方技術士委員会等が CPD 行事を開催する場合、事前に幹事メーリングリストにてイベント情報開催日時のお知らせを行い、極力日時の重複は避けてください。
2. 「CPD 行事参加票」を発行するイベントを案内する場合、案内文書には CPD 行事である旨を掲載してください。

(記載例)

- ・ヘッダーに記載 継続研鑽(CPD)プログラム
- ・文中に記載



CPD 証明・・・本研修会参加者には CPD 行事参加票を発行いたします。

3. 「CPD 行事参加票」に付ける番号は、下記のルールに従って、各委員会、各研究委員会、各地方技術士委員会等の事務局で連番を振って管理します。

3-1. 「CPD 行事参加票」の連番は、「〇〇-R01-〇〇」というように、2桁、ハイフン、3桁、ハイフン、2桁の合計7桁の番号とします（全角文字、半角文字は問いません）。

3-2. 最初の2桁は、各委員会、各研究委員会、各地方技術士委員会等に割り当てられた固有番号とし、以下の通り設定します。

- ・本部事務局：A1、技術士試験委員会：B1
- ・総務委員会：C1、事業委員会：C2、広報委員会：C3、社会活動委員会：C4
- ・防災委員会：D1、青年技術士交流委員会：D2、倫理委員会：D3
- ・北方海域技術研究委員会：E2、リージョナルステート研究委員会：E3、北海道スタンダード研究委員会：E6、エゾシカ研究委員会：E8、エンジョイ・サイエンス研究委員会：E9、技術者のミライ研究委員会：E10
- ・道央技術士委員会：F1、道南技術士委員会：F2、道東技術士委員会：F3、道北技術士委員会：F4、オホーツク技術士委員会：F5

3-3. 真ん中の3桁は、年度とし、令和元年度は「R01」、令和2年度は「R02」と言うように振ります。

3-4. 最後の2桁は、各委員会、各研究委員会、各地方技術士委員会等が主催するセミナー等のその年度の連番を付けて下さい。

例えば、令和元年11月28日(木)に開催される社会活動委員会主催の『令和元年社会交流セミナー』は、社会活動委員会の令和元年度最初のCPD行事であることから、CPD行事参加票No. C4-R01-01 (または、C4-R01-01) となります。

4. イベント開催時には会場にて上記ルールに従った番号を付した「CPD行事参加票」を用意してください。

参加票の書類様式(Word版)は日本技術士会統括本部(東京)のHPに掲載されておりますが、北海道本部HP(セミナー/イベント情報のページ)にも掲載しております。

5. 「CPD行事参加票」の用意は、あくまでも北海道本部の各委員会、各研究委員会、各地方技術士委員会等が主催するセミナーや見学会等のイベントに限定します。

他の団体が主催するイベントに協賛、後援で参加する場合は、「CPD行事参加票」を用意しないで下さい。

なお、共催(=共同主催)の場合の参加票発行には、個別のケースにより可否の条件が異なりますので、必ず事前に事務局までお問い合わせください。

- ・日本技術士会 HP → 技術士 CPD → CPD 事業 → 本会における CPD 参加に関わる CPD 参加票について
- ・北海道本部 HP → <http://www.ipej-hokkaido.jp/event/eventm.htm>

以上